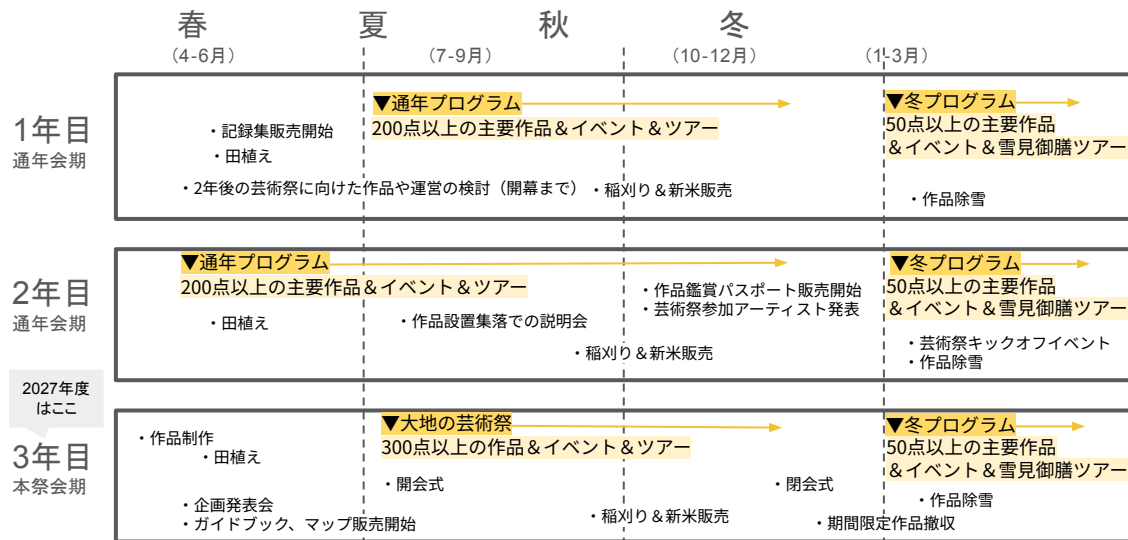


越後妻有里山協働機構について

私たちは大地の芸術祭の取り組みを通じて越後妻有地域の潜在的な魅力を育て、地域住民が誇りをもって暮らし、訪れる人々と夢や希望を分かち合える21世紀のモデル地域をつくることを目的に活動しています。

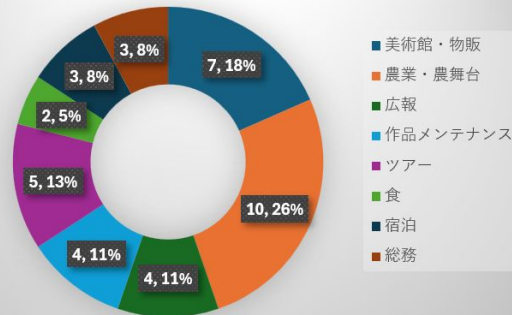


大地の芸術祭を軸としたサイクル（3年）の中で従事しています！



スタッフは部署に所属しますが、さまざまなプロジェクトをワンチームで行っています。そのため仕事場所やメンバーも固定ではなく、いろいろな環境で働いています。サッカーや米作りに取り組みスタッフも！繁忙期はサポーターに加え大勢のアルバイトも活躍し、地域の雇用創出にも貢献しています。

従事する業務と正社員の割合
(2026年9月)



ツアー担当スタッフ紹介

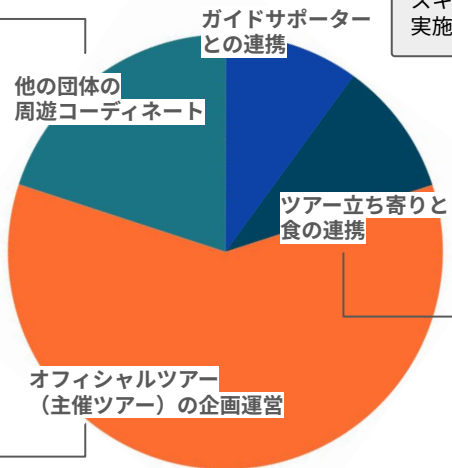
Nさん | 26歳・入社時期 2022年4月
十日町市出身（大学卒業後にUターン）
通勤時間 徒歩5分



ツアー担当の仕事 PICK UP

企業や学校の研修や修学旅行で大地の芸術祭を訪れる際の、行程の提案や食事の手配、地域体験やワークショップを行っています。ガイドとして同行したり、地域活性化にまつわる講演を行ったりすることも。ツアー担当に相談すれば間違いなし！

越後妻有の地域とアートを楽しむバスツアーを主催しています。3年に1度の祭典のシーズンは300点以上の作品が展開されるので、現地での車の運転が不安な方や、初めての方訪れる方も効率良く周遊できる人気のコンテンツです。ディレクターが案内するツアーや集落の行事を体験する特別なツアーも造成しています。



大地の芸術祭のツアーは、ガイドによる案内が魅力の1つ。地域内外から集まるサポーター「こへび隊」でもあるガイドの皆さんと作品の勉強やガイドスキルのブラッシュアップを月に1回実施しています。



ツアー形式で作品を周遊する時は、お昼ご飯が欠かせません。大地の芸術祭で運営するレストランと連携し、大勢のツアーのお客さんが食もアートとして楽しんでいただけるよう、連携には力を入れています。「うぶすなの家」や冬のツアー限定の食体験「雪見御膳」で食事を作ってくれる地域のお母さんたちが活躍できる体制作りも行っています。

▼担当している業務

（通常期）ツアーの造成や集客、ガイド
（会期中）上記に加え、レストラン運営、作品制作やイベントの進行管理などさまざま

▼入社のきっかけ

十日町市で生まれ育ちましたが、芸術祭とは無縁の生活を送っていました。大学生の時に帰省ついでに関わった大地の芸術祭の活動で、地元に対する印象が良い意味で180度変わったことが個人的にはものすごい衝撃でした。大学進学時には帰ってくるつもりじゃなかったのに、自分の知らない故郷の姿を追求すべくUターン就職。この決断で良かったといつも思ってます。

▼面白いと感じた仕事や地域のこと

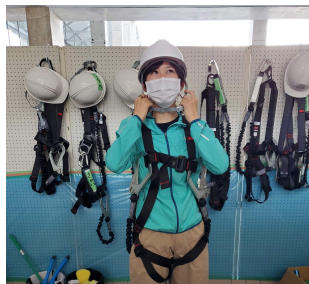
どの業務をとっても「地域を活かし生きていく」を常に考えていけることが面白いと感じています。日々発見や学びがあり、自分自身が成長している実感もあります。私は雪が大の苦手でしたが、冬のイベント運営や除雪の仕事を通して雪を楽しめるようになってきました❄️✨



芸術祭の中心施設、まつだい「農舞台」でお客さんをご案内。Uターン就職していないければ、作品も景色の素晴らしさも知らないままだったと思います

広報担当スタッフ紹介

Mさん | 27歳・入社時期 2021年4月
東京都・府中市出身（入社を機に移住）
通勤時間 車で20分



▼担当している業務
（通常期）芸術祭事務局、広報
（会期中）上記に加え、作品制作

▼入社のきっかけ

地方で働きたかったこと、こへび隊（サポーター）として学生時代に越後妻有に来たことがあったことから、この地域で暮らして美術の仕事をしたと思い応募しました。

広報担当の仕事 PICK UP

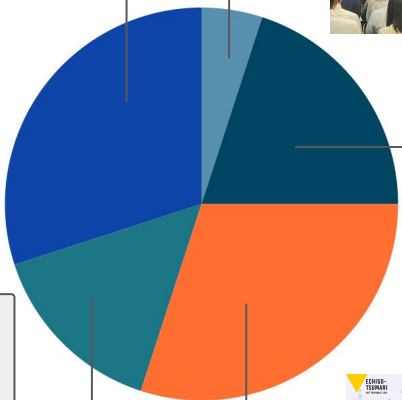
印刷物の作成、校正

電波の弱い山間部で作品を展開する越後妻有では、パンフレットやガイドブック、マップなど紙媒体の広報物の作成も必須。一度印刷してしまうと修正できない紙物の広報物には神経を使います。初めて来られるお客様にはわかりやすい情報を、再訪してくださるお客様にも使い勝手のよい情報を発信できるよう、毎回コンテンツ形成の段階からじっくり検討します。



データ管理・調整、アーカイブ作成

一見華やかな印象を持たれる広報ですが、実は入念な情報管理が求められる内向きの業務も多いです。異なるプロジェクトを同時に推進する当法人においては、正しい情報の取りまとめや、取り組みの言語化、メディアに掲載された内容の記録など...幅のある情報管理に、その方法を含め試行錯誤しています。



PRイベントの企画・開催

大地の芸術祭の魅力を地域内外に広めていくための仕掛けをつくります。

メディア取材、撮影の対応

今や美術の枠組みを超え、地域づくりや教育などさまざまな切り口で取り上げられるようになった大地の芸術祭を、その根幹にある思想とあわせてメディアへ伝える重要な業務。また、作品の記録やPR撮影なども行います。



HP・SNSでの情報発信

公式HPでは芸術祭に関わるあらゆる情報が、常に最新の情報として届けられるよう、他部署の協力のもと、こまめに情報更新をしています。また、SNSではそれぞれの媒体の特性・ターゲットを分析しながらクリエイティブの作成から発信までを行います。

▼面白いと感じた仕事や地域のこと

この地で暮らして集落の方々と関わりを持ちながら働いていると、過疎高齢化という現実と対峙するシーンが本当によくあります。と同時に、失われていく地域の営み・文化を継承していくための手段として芸術祭の存在があることを実感します。地域の課題に前向きに付き合いながら、アーティスト、行政、地域住民といったさまざまな関係者と事業を進めていくことができるという点が、当法人ならではの大きな魅力です。（地域の方から山菜やイノシシ肉、鴨肉などを当たり前のように「食べな！」と渡されることも、ここで生活しながら働く面白いところです）



テレビ取材対応中

施設運営担当スタッフ紹介①

農舞台スタッフ20代～70代※アルバイト含む
勤続年数1年～20年
市出身（十日町市、大阪、神奈川ほか）
通勤時間 10分～60分



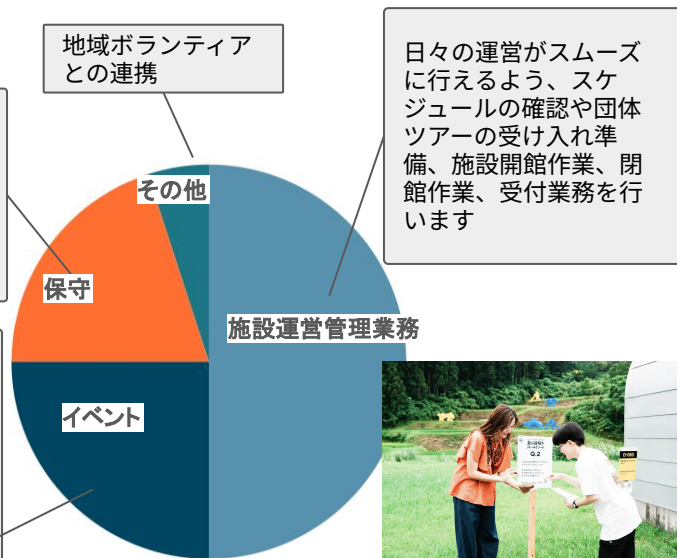
施設運営①の仕事 PICK UP



点検や清掃、
修繕作業、除
雪、雪囲い取
り付け、取り
外し



季節ごとの催事を
企画し実施。春は
山菜イベントや田
植え、秋は新米の
販売PR、冬は雪あ
そびイベントなど
企画から、準備、
実施まで行います



▼担当予定の業務

施設運営管理（スケジュール管理、催事の企画運営、アルバイトシフト作成、日々の運営、作品や施設の清掃・管理・安全点検）

▼面白いと感じた仕事や地域のこと
美術館施設と屋外の里山スペースをもつ、大地の芸術祭施設の中でもユニークな拠点です。一緒に働く地域の皆さんやボランティアの方とともに、夏はあっという間に伸びる草や、冬は雪など、過酷な自然と闘いながら地域の魅力を来場者に発信します。他所にはない苦労はありますが、ここでしか体験できない自然と共存する暮らしを間近で知ることができます。



里山を舞台に多様な人たちと一緒に協力して活躍できる人求む！
時には出張もあります。